

安全・適正就業だより

令和4年3月10日発行 〈第4号〉

編集・発行 公益社団法人寄居町シルバー人材センター 安全・適正就業委員会

運転前のセルフチェックを 委員 吉田 正美



全

国的に高齢者が関係する交通事故が多発しており、交通事故で亡くなった方の約半数が65歳以上の高齢者です。

私たちはいくつまで運転を続けられるのか？との問いに……、

■免許歴は50年

■運転には自信あり

■ずっとゴールド免許

だから大丈夫と、

答えたいところですが、それは過信かもしれませんね。

運転も老化する。それは

中高年で起こり、身体機能だけではなく心理面にまで

及ぶ。また、これらは一様ではなく個人差が大きいことも特徴と言われています。

そこで、一つずつチェックすることで自分の身体や精神面を見直すことができる『運転前のセルフチェック』をやってみましょう。

車を運転する前に、車の点検とあわせて、自分の健康も願います。

チェックの結果はいかがでしたか？

一つでも気になる項目があったら、運転するべきかどうかを考える必要があるようです。

少しでも長く楽しく安全運転を続けたいと願う一方で、このチェックを日常化することにより、自分を冷静に俯瞰し、自ら「今日、免許証を返納してくるよ」と家族に言える日が来ることが最善ではないでしょうか。

運転前のセルフチェック

- 自分の体調に異変・違和感はない
 - 疲労やストレスはない
 - 前夜に深酒や寝不足はない
 - 現在治療中の病気はない
 - 自分の病気は運転に影響を与えるものではない
 - 治療薬は正しく服用している
 - 治療薬の副作用をきちんと理解している
 - 医師や家族などから運転に関する注意を受けていない
 - 運転スケジュールに無理はない
- ・交代運転者は
 - ・時間的な余裕は
 - ・休憩をとる余裕は



『オンライン研修会に参加しました』

安

全・適正就業委員会では、1月21日(金)に、いきいき埼玉主催の委員研修会に参加しました。

当日は、新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン研修。「事故に学ぶ」をメインテーマに、事故の原因や予防など3人の講師から具体的な事例説明があり、有意義な研修会となりました。



草

刈りの仕事をしていますと、平坦な場所ばかりではありません。

時には急斜面での草刈りや何年も放置された雑木の伐採など、最初の頃はどこから手を着ければよいのか躊躇しましたが、最近では5人のメンバーで難なく完全に作業を進めています。

もちろん作業を始める前にはみんなで打ち合わせを行い、段取りを決めてから作業に取り掛かっています。

シルバー人材センターの仕事は、基本、時間給なので依頼者の気持ちを思い、「早

く丁寧トラブルなく」を目指しています。

予定通り仕事ができて、依頼者に喜んでもらったときは、それなりにやりがいを感じています。

また、毎年のごとですが、7月から8月の猛暑の中、刈払機を抱えての作業は堪えます、

熱中症対策として、こまめに水分を補給し、早目に休憩をとるなど気をつけていますが、もっと効果的な対策はないものかと思えます。



第2回職場安全巡視を行いました



本

年度2回目となる職場の安全巡視を、2月18日に実施しました。

巡視場所は2箇所。最初は、菅原地内の町有地で、雑木の根元からの伐採作業現場でした。(写真右下)



全国ではこんな事故が...

個人宅で、脚立を使い、約3メートルのビワの木の剪定作業中、高さ約1.8メートルから左足を滑らせ転落してしまいました。事故後も約半月仕事を続けていました。

しかし、痛みが続いていたため通院したところ、胸椎圧迫骨折との診断で入院、手術となったそうです。

その後、骨折が原因での胸椎化膿性脊椎炎を併発し、下半身麻痺が残ったことから6月以上にわたり入院、現在も週3回通院、リハビリ中とのことです。

大きく広がった枝を切り落とし、足場を確認しながら順次伐採を進めていきました。

次に桜沢の除草と立木の伐採現場を巡視しました。(写真右上)

作業前は、雑木などが絡まりあい大変な状態だったとのことですが、それらをチップパーで粉碎し、見違えるようになりました。

当日は、風が強く寒い日でしたが、機具の整理やガソリンの管理など、委員会の判定は、優良及び良でした。